

目的 耐久消費財である洗たく機の最低部品保有期間は6年である。しかし、現実には10年以上使用している洗たく機もあるがそのような洗たく機の性能状態については報告されていない。そこで、昭和45年以降に購入し使用し続けた洗たく機の性能を明らかにするために実験を行った。

方法 洗たく機；使用履歴の明らかなる昭和45年以降に購入し使用したH、N、M社の合計6台の家庭用二槽式洗たく機。試験項目；①視覚による汚染、損傷の観察。②機械力：ハンディデジタルタコメータによる浴比と回転速度の関係。③カーボンブラック人工汚染布による浴比1:26の場合の洗浄効率。

結果 ①取扱説明書と洗たく機の操作板から、洗たく機の取扱い方の説明は年を追うにつれて懇切になる。洗たく方式は、渦巻から反転式に変わり種類は4種から強弱のみの2種になった。価格は、いずれも約2万円を消費者に対するサービスの姿勢が認められる。②回転速度は、次第に低下の傾向にあり回転速度と洗浄効率の間に相関関係が認められた。③回転速度と洗浄効率の結果から、今回実験した洗たく機の性能は1日2回の洗たくで10年以上の使用に十分実用に耐えられることがわかった。④衛生的見地から、1年に2回位のおふれ口の清掃の必要を強調すべきである。